学校だより

横浜市立釜利谷中学校
発行日　令和４年 10 月３日（月）
発行者　学校長　　木村　典明
所在地　金沢区釜利谷南 3-5-1
電話 784-7311　FAX 783-9762
URL　http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/kamariya/

学校教育目標

人との関わりを大切にします。（徳、公）
生きるための学びを大切にします。（知、開）
心と命を大切にします。（体、徳）

知･･･生きてはたらく知
徳･･･豊かな心
体･･･健やかな体
公･･･公共心と社会参画
開･･･未来を開く志

「文歌祭、迫る！」

校長　　木村　典明

中学校の秋の名物行事と言うと真っ先に挙げられるのが文化祭です。本校の場合は、クラス合唱を行うことから「文歌祭」という表記をしています。しかしながら、昨年度の文歌祭は新型コロナウイルス感染症の影響で合唱を行うことができず、代替案として全校生徒によるビッグアートの制作を行いました。およそ 10 万枚の紙片が生徒一人ひとりに分担され、それらを貼り合わせていくと、一つの巨大なモザイクアートになるというものでした。朝日に向かって、中学生が拳を振り上げているというその図案は、コロナ禍でも力強く前進し続けようとする生徒たちの心意気を象徴するかのようで、心に強く残りました。そして今年は･･･、文歌祭の名のとおり合唱で実施することになります。現在クラスでは、選曲した合唱曲の練習を、パートリーダーを中心に進め、歌声の調和を図っていこうとしているところです。マスクをして感染対策をしながらの練習になりますが、校舎内には元気な歌声が響いています。

中学生の合唱の醍醐味は、成長とともに声の質も変わっていく中で仕上がっていく喜びがあることです。初々しい１年生の発声が、学年が上がるにつれて大人に近い声になっていき、３年生になると、曲に華やかさを与えるソプラノ、深みや厚みを出してくれるアルト、力強く豊かな音の広がりをつくる男声が、美しいハーモニーを生み出して成長の証を感じさせるのです。

クラスのみんなで合唱をするということは、中学校では見慣れたごく普通の日常です。でも、一般社会ではどうでしょうか？職場の仲間と合唱を楽しむなんて、そういったサークルにでも入っていない限り経験することは、ほぼゼロです。大学もそうですね（クラスという概念がそもそもないのでは？）。場合によっては、高校もそうかもしれません（現に私の高校時代は、合唱コンクールのような行事はありませんでしたし、芸術教科は選択制だったのでクラスで合唱をすることは３年間全くありませんでした）。クラス合唱に限らず「中学では日常的な光景なんだけれども、実は社会に出てしまうと到底経験することができない貴重なこと」で中学校は溢れかえっています。あっという間の３年間で、生徒たちが一つでも二つでも、そういう経験をしてもらえたら･･･、と願うばかりです。

◇「人との関りを大切にする授業」を公開します！－特別授業公開－

本校では、子どもたちがそれぞれの違いを受け入れ、共に認め合いながら生活し、互いにとって居心地の良い空間を作り上げることができることを目的として、特別講師による授業を行うことになりました。

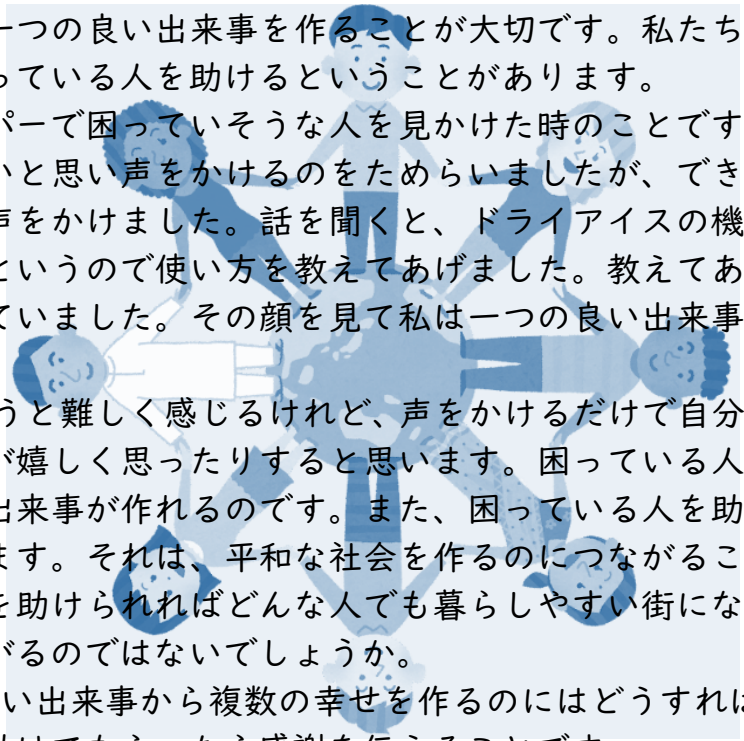
つきましては、生徒だけでなく保護者の皆様や地域の皆様にも一緒に授業を視聴していただき、**共に認め合い支え合うことができるあたたかな地域づくり**を目指していければと考え、授業を公開させていただくことなりました。ご多用のところと思いますが、皆様のご参加をお待ちしております。

◇世界の幸せを増やしませんか？ ―「ありがとう」で広がる幸せ―

去る6月29日に金沢区役所にて、よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト区予選が行われました。本校の代表生徒のスピーチの内容を掲載します。感謝の気持ちを伝える「ありがとう」で小さな平和から少しずつ社会を変えていきましょう、という内容で何とも優しさ溢れるスピーチでした。

「ありがとう」で広がる幸せ

もしも、幸せに形があって数が数えられたとしたら今世界に何個の幸せがあるだろう。そんなことを考えたことはありませんか。一つの出来事からたくさんの幸せが生まれたらいいですよね。私はちょっとしたことでそれができると思います。そのためにはまず一つの良い出来事を作ることが大切です。私たちがすぐできることの一つとして困っている人を助けるということがあります。



この前、スーパーで困っていそうな人を見かけた時のことです。最初は助けられないかもしれないと思い声をかけるのをためらいましたが、できることがあるかもしれないと思い声をかけました。話を聞くと、ドライアイスの機械の使い方が分からず困っていたというので使い方を教えてあげました。教えてあげるとその人は嬉しそうな顔をしていました。その顔を見て私は一つの良い出来事を作れたような気がしました。

「助ける」というと難しく感じるけれど、声をかけるだけで自分にできることが見つかったり相手が嬉しく思ったりすると思います。困っている人を助けることで自分たちにも良い出来事が作れるのです。また、困っている人を助けることにはもう一つ利点があります。それは、平和な社会を作るのにつながることです。街の全員が困っている人を助けられればどんな人でも暮らしやすい街になり、平和な社会を作ることにつながるのではないでしょうか。

では、一つの良い出来事から複数の幸せを作るのにはどうすれば良いでしょうか。次に大切なのは助けてもらったら感謝を伝えることです。

電車やバスで席を譲った時「ありがとう」と言ってもらえると嬉しくなります。また、友達の消しゴムを拾った時「ありがとう」と言ってもらえた時も嬉しくなります。この二つの嬉しい出来事の共通点は、「ありがとう」を伝えてもらえたこと

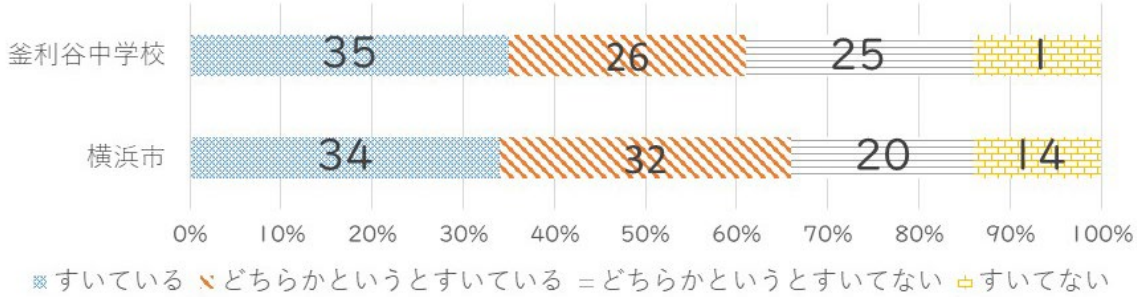
です。このように助けた時に「ありがとう」と言ってもらえると心が温かくなり助けた人も助けられた人も幸せな気持ちになれます。そうすると、幸せが増えるのに加え、困っていそうな人に声をかけやすくなります。

　このことから、困っている人を助けることと感謝を伝えることで一つの良い出来事から複数の幸せが生まれる上に平和な社会を作ることが私たちにもできると思います。一人で世界の幸せをたくさん増やすのは難しいかもしれないけれど、たくさんの人が協力すれば難しいことではありません。みなさんもこれから自分にできることを探して一緒に世界の幸せを増やしませんか。

◇いただきます！　―「食事に関する調査」より―

　昨年度、横浜市立中学校の２年生（現３年生）を対象に行われた、「食事に関する調査」（抽出調査）の結果を学校だよりで毎回お知らせしています。

【質問】あなたは、朝食の前におなかがすいていますか。



「すいている」「どちらかというとすいている」の合計が市全体より若干少ないのが気になります。夕食の食べ過ぎ、夕食時間が遅い、寝る前の間食などが考えられます。規則正しい食生活が大切です。

schoollunch_yokohama_official

お知らせ

　横浜市が、中学校給食公式Instagramを始めました。広く市民の皆さまに中学校給食の魅力を発信し、食に関する理解を深めていただくきっかけになるよう中学校給食の献立の紹介、食育に関する動画、食に関する豆知識などをお届けいたします。

◇10 月の主な予定

3日（月）　朝会 教育実習期間(～21 日)
10日（月）　スポーツの日
11日（火）　専門委員会
12日（水）　個別支援学級合同体育祭
14日（金）　特別委員会
17日（月）　生徒委員会
20日（木）　文歌祭（クラス合唱の部）
21日（金）　文歌祭（文化部発表の部）
26日（水）　児童生徒交流日
27日（木）　2年職場体験学習 3年進路面談（～11月1日）
31日（月）　個別支援学級区合同宿泊学習（～11月1日）

次回の発行予定日は 11 月 1 日（火）です。